

と とうごう 議会だより



部活にはげむサッカー部員(兵庫小学校)

(議会だよりでは、表紙写真を募集しています)

2013年 (平成25年) 第 109 号

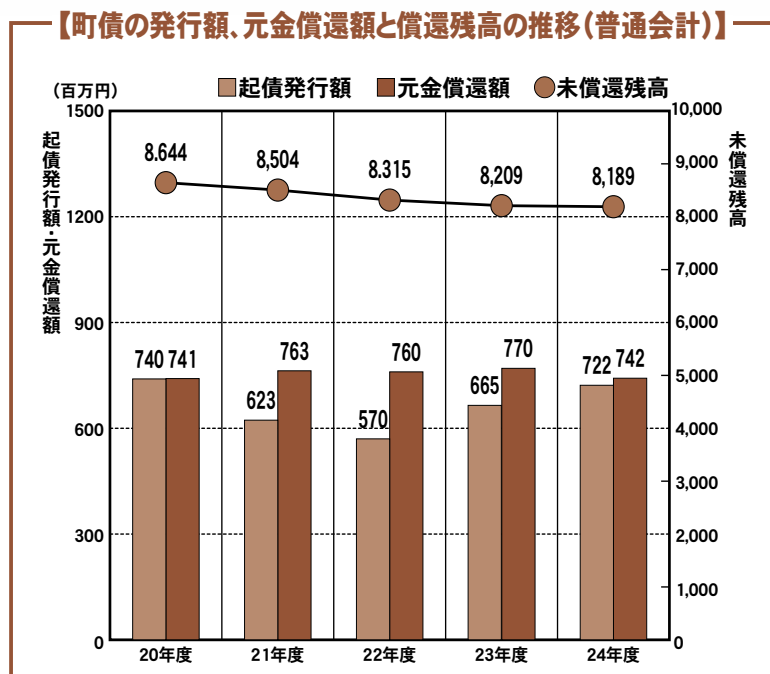
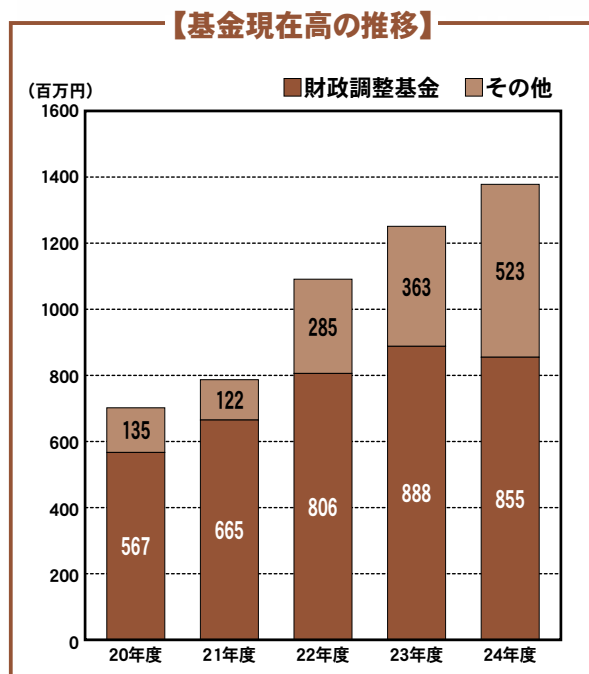
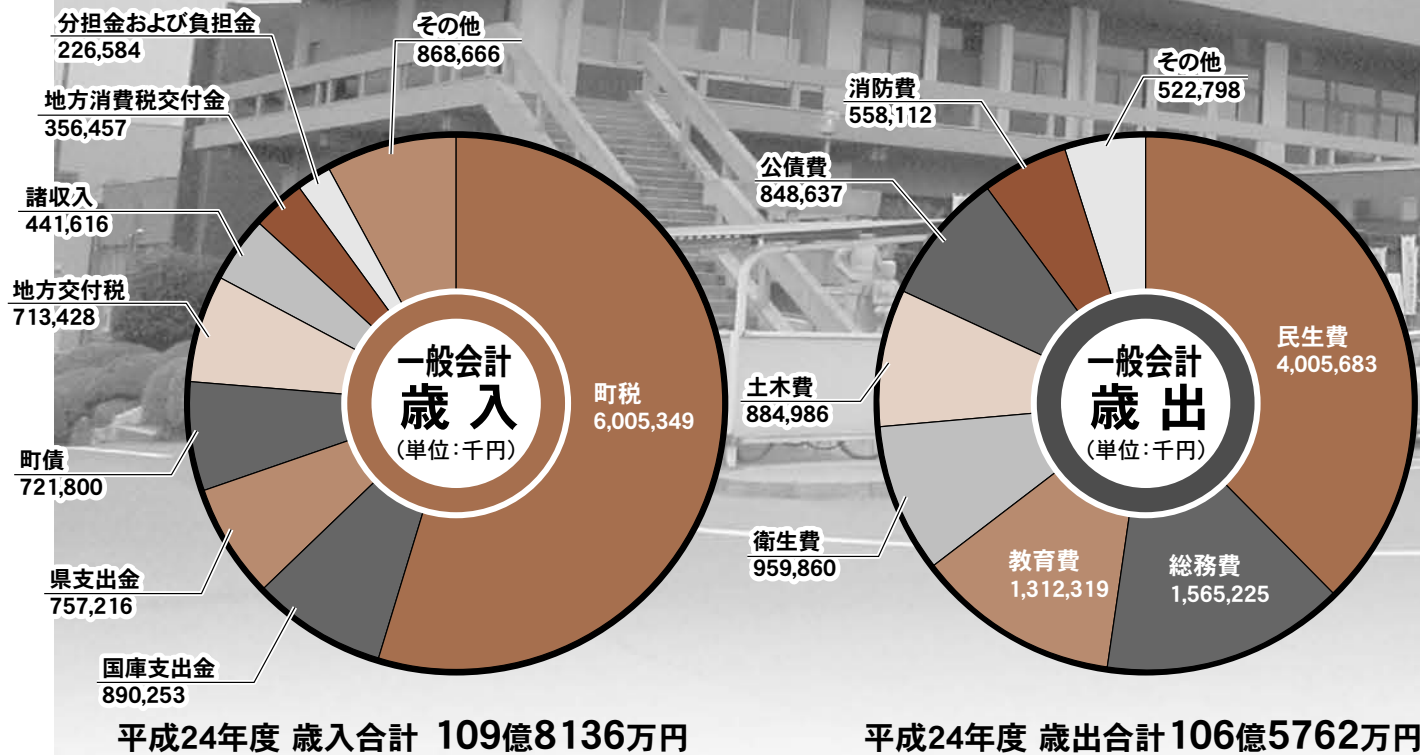
11月1日 発行

	ページ
■ 9月定例会	2
■ 議案審議の結果一覧	5
■ 一般質問者12人	6
■ 委員会の県外研修報告	12
■ 町民との意見交換会	14

平成24年度 一般会計 特別会計 決算認定

9月
定例会

平成25年第3回定例会(9月定例会)が8月29日から9月25日までの28日間の日程で開催されました。9月定例会では、平成24年度決算認定案をはじめ補正予算等15議案が提出されました。また請願1件・委員会提案の意見書案1件が提出されました。それら議案の審議結果は5ページの結果一覧表をご覧ください。



賛成

将来ビジョンの見極めが難しい時代であるが、行政運営をキーワードに「対話」

反対

臨時財政対策債を活用し、着実な財政運営を行い、実質公債費比率などの数値も好転したことなどは評価できる。個人住民税の年少扶養控除で子育て世代に増税されたこと、徴収に特化した機構に滞納処分を任せていること、国保や介護などの負担が高いことなどが問題。

(門原武志 議員)

平成24年度一般会計

(賛成多数で認定)

と協働」「子育て支援」「健康づくり」とされ、着実に実現されたこと。また、厳しい財政状況の中、自主財源の確保に努め、歳入歳出ともに適切な執行であったと確認し、さらなる町民福祉の向上を願うものである。

(星野靖江 議員)

社会保障関連の経費など、経常的な経費は、年々増加しており、一方、財政の硬直化が心配される所、財政健全化に向けて尽力され、必要な事業を実施しつつ将来の財政負担を考えながらバランスのとれた財政運営を実施された決算内容であり評価する。

(近藤鑑治 議員)

**平成24年度東郷町
国民健康保険特別会計**

(賛成多数で認定)

反対

住民にとって国保税が大きな負担となっている中、減税を真剣に検討すべきだった。苦しいと言われる国保会計の運営でも、2億5400万円余の実質収支があった。国保は独立採算とは言わずに、町政の大きな課題として減税に取り組むべきだ。

(門原武志議員)

**平成24年度東郷町
後期高齢者医療特別会計**

(賛成多数で認定)

反対

この制度は75歳以上の高齢者を扶養家族から切り離し、高齢者の保険料で運営する制度で、高齢者の医療費の増加が値上げとなって反映される制度。平成24年度にも値上げされ

た。値上げがいやなら医療サービスを受けるなど言わなければこの制度の廃止を求める。

(門原武志議員)

**平成24年度東郷町
介護保険特別会計**

(賛成多数で認定)

反対

この年度は保険料が値上げされた。年金が下がり後期高齢者医療保険料の値上げも実施されたことを考えると値上げは避けるべきだった。紙おむつの支給も500円分まで無料だったのが1割負担になったことも問題。

(門原武志議員)

**平成24年度東郷町
下水道事業特別会計**

(賛成多数で認定)

反対

市街化区域で都市計画税という目的税が制限税率の

**教育委員会の委員の任命について
(新任/ハンフリーズやす子氏)**

(全員一致で同意)

賛成

海外勤務も経験され、現在みよし市の英語講師として活躍されています。英国人のご主人と結婚され3人のお子さまを育てられており、子ども会の会長、小学校PTA母代として貢献され地域・学校からも信頼され、教育に対する視野も広く人柄からも委員として適任であります。

(近藤鑛治議員)

**教育委員会の委員の任命について
(再任/相羽繁生氏)**

(賛成多数で同意)

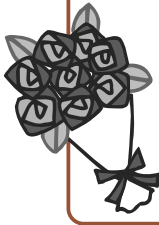
反対

相羽繁生氏が自民党員だと町長が答弁した。4年前に相羽氏の任命への同意が問われたときにも述べたが、相羽氏就任まで町教育委員は無党派で占められてきたが、相羽氏就任でバランスが崩れた。その状態を続けることに反対。相羽氏の人柄や能力が理由ではない。

(門原武志議員)

人事案件

固定資産評価審査委員会の委員、加藤昇氏を再任しました。任期は平成28年9月30日まで。教育委員会の委員、近藤安恵氏、任期満了につきハンフリーズやす子氏を新任しました。教育委員会の委員、相羽繁生氏を再任しました。任期は平成29年9月30日まで。



議案審議の結果一覧

9月定例会

議案名	審議結果	加藤宏明	川口一夫	若松孝行	水川淳	山田達郎	井俣憲治	加藤啓二	近藤鑛治	石川正	柘植三良	若園ひでこ	箕浦克巳	門原武志	星野靖江	菱川和英
固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命について(再任/相羽繁生氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会の委員の任命について(新任/ハンフリーズやす子氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度東郷町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度東郷町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度東郷町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度東郷町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度東郷町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東郷町旭ヶ丘団地汚水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長 加藤啓二は採決に加わらない ○…賛成 ×…反対 欠…欠席

9月議会で可決した意見書

○定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて真摯に取り組んでいるものの、いじめや不登校、非行問題行動を含めた、子どもたちをとりまく教育課題は依然として克服されていない。また、特別な支援や日本語教育を必要とする子どもも多く、適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。本年度、いじめ問題への対応など、教育課題に対応するための定数改善がされたものの、少人数学級のさらなる推進のための定数改善計画案が見送られたことにより、教職員定数増も見送られることとなった。少人数学級を行うことで、一人ひとりの子どもにきめ細かな対応ができるという多くの声がかかるなか、子どもたちにこれまでも増してきめ細かに対応するためには、今後、少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたままであることに加え、本年度、子どもの自然減に準じた措置以上に義務教育費国庫負担金の削減も受け、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ復元することは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって責務においては、平成26年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月25日

愛知県愛知郡東郷町議会

(提出先)

- 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣

セントラル土地区画整理事業 「ららぽーと」誘致について

近藤 鑛治 議員



【問】商業施設の事業予定者が「三井不動産」に決まった経緯はどのようか。
【経済建設部長】募集要項を示し募集の結果、8社のコンペ参加表明があり内4社から企画提案書の提出があった。選定委員会で審査基準の要項に基づき、公正・公平に審査を実施した結果、最高得点となった大型複合商業施設「ららぽーと」を展開する三井不動産を事業予定者に決定した。

【問】事業が完成すると、どう変化すると考えるか。
【総務部長】事業区域内の人口は240人の見込み。雇用・税収面の増加は見込めるが、ららぽーとの計画が具体化及び仮換地課税を実施する段階まで正確な試算はできない。

【問】商工会・農協等と連携の考えはどのようか。
【経済建設部長】開設により大幅な集客力が予想されるので、業者と密接な連携をとり、まち全体が発展できる計画を進める



発起人会より地権者に経過説明が行なわれた
(9月1日東郷町民会館大ホール)

必要がある。構想段階であるが、町の関係部局と商工会・農協・シルバークル・施設サービス等の団体とプロジェクトを立ち上げ検討して行きたい。

【問】川瀬町長はどのような考えをお持ちか。
【町長】シティープロモーションの考え方(町のブランド化、魅力づくり)で、小さくてもキラリと光るまちに磨き上げ、周辺から我が町に来て頂き消費が始まり、ふれあい・交流が始まる、周辺地域の中心核になるよう、地権者の皆様方のご協力を得ながら進めて行きたい。

一般質問

公共施設の長寿命化には 多額の財政負担が想定される「整備計画」を

箕浦 克巳 議員



【問】町制実施のS45年以降、人口の伸びとともに建設した公共施設は、一斉に更新時期をむかえる。整備計画について伺う。
【総務部長】各施設の長寿命化対策を進める。児童館については、本年現況調査及び改修計画予備調査を実施し、来年度に施設修繕計画を作成する予定。

【問】役場庁舎は耐震改修工事で整備完了では。
【総務部長】建物の骨組み部分のみが耐震工事、老朽化の改修工事は別物。

【問】大きな財政負担になるが財源対策は。
【総務部長】遊休財産の売却費等を公共施設整備基金として積立している。今後とも計画的な積立や地方債などを活用し単年度の財政負担を軽減しながら、財政計画の中で財源確保に努力していきたい。



くらしの豆知識等を配布する「くらし協働課」窓口。

【問】暮らしの豆知識、愛知生活便利帳の概要を。
【生活部長】消費生活等に関する身近な知識を掲載。後者は外国の方が、日本で生活を始めるに役立つ情報を集めたもの。

【問】暮らしの便利帳の発行を想定すると飛躍的な人口増も期待される。住民に対する行政サービスの周知に暮らし便利帳を発行してはどうか。
【企画部長】暮らしの便利帳は、市町のPR、各種行政サービス、案内地図等に加え、事業所の有料公告が掲載されている冊子。民間の業者と協働発行することにより、行政が印刷及び配布の費用を負担することなく発行できる。研究していく。

命を守る緊急地震速報

山田 達郎 議員



【問】緊急地震速報が、誤報ではありませんでしたが最高の訓練であった。マニュアルがある中、発令されてから実際に行った役場全ての部署の行動について順番に答えください。
【総務部長】6割が出来た。来庁者が少なくパニックにならなかった。
【生活部長】巡回バスは、携帯は運転中に操作しないなどから対応をしていない。
【福祉部長】憩いの家は端末が無く携帯も無く気がつかなかった。
【健康部長】診療所は端末がない。いこまい館は全館放送したが、周りの声で対応が少し遅れた。
【教育部長】学校では、吹奏楽部が聞こえずに気がつかなかった。
【問】課題と反省点は。
【総務部長】端末が無かったり聞こえづらかったりで気がつかなかった。で、端末の購入や端末の位置を変更するなどし対応したい。



水と緑とポートのまち東郷町

【問】町長は開会式で来年も6艇購入したいとの発言がありました。予算と購入内容について答えください。
【教育部長】ナックル艇6艇、オール24本で70万円2艇を寄付し4艇を売却予定。5分の4の助成を申請したいが助成が受けられない場合は、検討し計画を変更する。
【問】来年は20周年記念ですがどのような計画か。
【教育部長】東郷町に協力的な水資源機構と商工会と議論し、会場内での物品等の販売や各種記念イベントとなるように年内に決めたい。

東郷町の「国民健康保険特定健康保健診査」 受診状況と「平均寿命」について

若松 孝行 議員



【問】本町の今年度の受診対象者数・受診目標率は。
【健康部長】受診対象者数は709人。目標率は44%。
【問】昨年度の受診者数・目標達成率は。
【健康部長】受診者291人。受診率42% (速報値)。
【問】継続受診の状況は。
【健康部長】受診者の6割が2年以上の継続受診。
【問】メタボリックシンドローム該当者・予備軍の状況は。
【健康部長】20年度から23年度は、該当者・予備軍ともに、人数及び出現率は増加傾向にある。23年度の該当者は47人、出現率16%、予備軍は262人、出現率9.6%。
【問】本町では年間何人の方が亡くなるか。
【健康部長】23年度は276人。24年度は266人。
【問】本町の死亡の原因となる主な病名は。
【健康部長】がん等の悪性新生物が最も高



町内指定医療機関「特定健診実施中」看板

く全体の約30%。続いて、肺炎、心疾患、脳血管疾患。死亡原因の5割以上が生活習慣病に関連する疾病。
【問】本町の平均寿命は何歳か。県内での順位は。
【健康部長】男性は80.7歳で810歳の日進市に次いで第2位。女性は87.4歳で第1位。2位は87.3歳の日進市。愛知県の平均寿命は、男性79.7歳、女性86.2歳。
【問】受診券再発行数・受診率向上の対策は。
【健康部長】23年度276件、24年度390件を再発行。勸奨はがきを受診券として再利用できるよう改善。医療機関に「特定健診実施中」の看板を掲示。

学校トイレの洋式化促進を

石川 正 議員



【問】小中学校のトイレの箇所、トイレ数及び洋式化率ほどの位か。

【教育部長】小児器を除き小学校60箇所394器で36.5%、中学校35箇所212器で35.8%である。

【問】県内の小中学校のトイレ洋式化率、トイレの改善計画を推進又は検討している市町の状態は。

【教育部長】長久手市は小学校37.6%、中学校46.1%でH27年度完了。日進市は小学校57%、中学校23%でH29年度完了。豊明市は小学校39.5%、中学校29%でH28年度完了。

【問】洋式トイレの改修費用は、1器当たりどの位になるのか。

【教育部長】パーテーションを含み1器30万円程度。

【問】学校トイレの洋式化は必要と思うが、どう考えているのか。

【教育部長】トイレの洋式化は衛生面、水道代削減からも必要である。H26年度実施計画に盛り込み実施していきたい。



小学校の和式トイレ

【問】H25年3月末要支援者296人、要介護者799人の計1095人である。過去3年間の推移は。

【福祉部長】H21〜23年で、要支援189人、231人、244人。要介護627人、669人、732人と毎年10%ほど増えている。

【問】要支援・介護が増えているので、もう一つセンターが必要と思うが。

【福祉部長】対象者は増えており、東郷苑のセンター化も考えの一つで動向を見て対応したい。

新型栄養失調と「アルブミン」

川口 一夫 議員



【問】新聞、テレビで「70歳以上の元気な高齢者の5人に1人は、新型栄養失調に陥っている可能性がある」という報道を見た。新型栄養失調の状態とはどういふことか。

【健康部長】必要な栄養素が不足し、体の老化が進み病気や死亡の危険性が高まる。この状態を「新型栄養失調」と呼んでいる。

【問】栄養不足になる前に予防策はあるか。

【健康部長】予防には、肉や魚・卵・乳製品などの動物性たんぱく質をバランスよく食べ、特定の物やあつさりした食べ物に偏らず、一日3食、色々な食材をバランスよく食べるのが重要だ。

【問】本町男女の平均寿命が、県で一位と二位だ。さらに一歩進んで、健康で長生きナンバーワンを目指したい。そこで提案だが特定健診や長寿健診の血液検査の項目に「アルブミン」検査を加えてほしい。受診者が、その数値で栄養状態を判断できき生活の大切さを考え実行することで、健康をさらに維持できると思う。

【健康部長】費用の問題もあるが、高齢者のアルブミン検査の導入について研究する。



ポイ捨て禁止旗と大量ごみ

【問】「ポイ捨て禁止」ののぼり旗が無くなったらポイ捨てのゴミが増える。

【生活部長】条例施行2年目となる今年は、幹線道路でポイ捨てごみの調査をし、11月頃に減量推進委とポイ捨て禁止キャンペーンを行う予定だ。

【町の公園のごみ問題】

シニア世代の働く場と生きがいの場づくりは

星野 靖江 議員



【問】就労機会の拡大をセントラル開発と捉え、事前調査・分析が必要であるが見解は。

【経済建設部長】シルバ一人材センター就労拡大のビジネスチャンスとして、必要な情報を提供していきたい。

【問】連絡調整組織の設置計画は。

【経済建設部長】プロジェクトチーム設置に向けて、先ず10月頃に庁舎内関係各課で協議する予定。

【問】就労機会の拡大をセントラル開発と捉え、事前調査・分析が必要であるが見解は。

【経済建設部長】シルバ一人材センター就労拡大のビジネスチャンスとして、必要な情報を提供していきたい。

【問】連絡調整組織の設置計画は。

【経済建設部長】プロジェクトチーム設置に向けて、先ず10月頃に庁舎内関係各課で協議する予定。



四季を感じる「押草通り」

【問】定年退職した団塊の世代の能力を活用する新たな夢プランは。

【経済建設部長】第2次中期計画に基づいて、事業展開している。また、新たな独自事業を検討しているところである。

【問】具体的には。

【経済建設部長】シルバ一人材センターとしてワンコインサービス事業を検討している。マニュアルを作成して、早期に事業

【問】団地内空き家件数は。

【企画情報部長】年々増加傾向にあり、260件。

【問】かつての人気物件が緑豊かな高台に高齢者や子育てのまちを視点をした行政の見解は。

【企画情報部長】URでは高齢者や子育て世代の応援対応などに力を入れるため、今年度から「団地マネージャー」を創設した。

【町長】子育て対策のみならず、高齢社会への対応もしつつありつつある。

まちの持続的発展のために、地域愛を醸成し転入者を促す「シティプロモーション」を！

水川 淳 議員



【問】人口減少時代に入り、自治体間競争が始まった。自治体の持続的発展のための手法の一つとして①まちの魅力を集める②集めた魅力を編集し③町内外へ発信する「シティプロモーション」がある。どのように魅力の収集を行っているか。

【企画部長】住民アンケートで魅力についての意見がある他、パブリックコメントでの意見やメールなどの投書、職員の地域活動で耳にする情報などがある。

【問】魅力の編集や「営業活動」には、職員の能動的・積極的な取り組みが求められる。見解は。

【企画部長】アンテナを高くすれば収集できると考えるが、体制がとりにくい。それに向けて取り組みをしていきたい。

【問】魅力の発信にはネット活用は必須と考える。



動き始めている各地のシティプロモーション（事例集）

【企画部長】現状は十分とはいえない。ホームページはあるがSNSなどは未実施。キャラクターを用いた近隣の事例もあり、研究していきたい。

【問】ケーブルテレビの活用は。

【企画部長】46%の加入率。現在は投込みによる情報を提供している。町独自の番組の確保や動画制作などを研究中。

【問】町外への発信は。

【企画部長】23年度に不動産業へのPR活動を実施。また、トップセールスでの企業誘致を実施している。

【問】効果は。

【企画部長】企業誘致では、トマト工場が挙げられる。

信じられない、凄い、嬉しい、歓喜の声 「ららぽーと」三井不動産(株)誘致

加藤 宏明 議員



【問】 発起人会役員などで構成される選定会議で選定、決定に至った要因は。
【経済建設部長】 最終審査に4社が挑み「オリジナリティ」「事業の継続性」などで、他社より優れているとして最高得点で決定された。
【問】 ららぽーとの概要は。
【経済建設部長】 三井不動産(株)が全国に8店舗を展開、高感度ファッションからエンターテイメントまで、様々なニーズに対応する複合型ショッピングセンターです。
【問】 提案の中で三井不動産(株)の持つノウハウが具体的にどう活かされるか。
【経済建設部長】 「ラゾーナ川崎プラザ」の拠点性、「ららぽーと横浜」のバス交通体系、「ららぽーと柏の葉」の「エ」まちづくりのノウハウを今回のららぽーと建設に取り入れる提案をいただいております。
【問】 交通渋滞や早期撤退に対する当局の見解は、町の費用負担は？



「ららぽーと 柏の葉」店内

【経済建設部長】 交通量分析の結果、既存の計画道路網から車線数の変更などは必要なかった。商業施設の開業に合わせ逐次、必要な交差点改良などに努める。早期撤退懸念に対しては、募集にあたり「施設運営の安定性、継続性」として、撤退や業種変更のリスクに関する考え方を確認している。なお、「ららぽーと」出店に際し、町が誘致のために費用負担したことはなく、今後出店の土地取得や施設建設に対し、町が費用負担することはありません。

震災・原発事故への対応を

門原 武志 議員



【問】 公共施設の吊り天井などの非構造部材の耐震性は。
【総務部長・福祉部長】 役場庁舎、保育園・児童館は問題ない。
【健康部長】 いこまい館の水中トレーニング室と多目的室の吊り天井を今年中に点検し対応する。
【教育部長】 東郷小学校体育館、町民会館ホール、総合体育館、給食センターの吊り天井が問題。東郷小は来年度に調査予定。
【問】 原発事故に対応するために安定ヨウ素剤を備蓄する考えは。
【町長】 震災が来ても原発事故が起こるとは限らない。確率が高いことから対応。まず震災対策をする。安定ヨウ素剤は研究する段階。
【問】 エアコン設置を。
【教育部長】 せめて音楽室には整備したい。普通教室までの整備費用は32億円程度と試算。



東郷小学校体育館

【問】 学校での暑さ対策は。
【教育部長】 体を冷やす道具の許可、スポーツドリンクの奨励、熱中症計測器の設置など学校ごとに工夫。互いに情報交換。
【問】 平和首長会議に加盟した。今後の考えは。
【町長】 議会でも提案があり加盟を決めた。町民へのアピールも研究したい。
【広報8月号の町長の文章】
【問】 副委員長が動議を出すのは問題か。
【町長】 問題ない。表現には気を付ける。

国が推奨するインターネットを活用した教育、東郷町は…

井俣 憲治 議員



【問】 東郷町の教育におけるICT化の現状は。
【教育部長】 町内6小学校で20台、3中学校で98台のパソコンを整備。今後、より充実させていく必要があると考える。
【町長】 情報化社会が来ることは間違いないが、予算の問題もある。
【問】 パソコンなどICT機器を利用した授業は、子ども達の反応はどうか。
【教育部長】 授業が非常に楽しく、分かりやすいと子ども達には好評だ。
【問】 学校におけるコンピュータ環境の整備は愛知県が47都道府県中、最下位。その愛知県54市町村中、東郷町は38番目。
【教育部長】 客観的事実と受け止めている。
【問】 学校教育におけるICT化は国策でもあり、国から交付金が出ている。今後の整備計画は。
【教育部長】 現在はパソコンを使いたいときに使えない。各教室にいつでも使えるパソコンがあることが理想。



全国で広がるネット活用教育

【問】 ICT化が進んでいる市町村ではiPad(アイパッド)を全ての小中学生に配布し、授業で使い、学力や情報モラル向上に役立てている。なぜ本町では活用できないのか。
【教育部長】 教育現場と協議する事が先決。予算という大きな問題もある。
※その他、「町内小学校での英語教育の現状」「増えた学習内容とその対応について」「住民が提唱する災害対策への町の対応」「桜の名所づくり」について質問しました。

食材高騰と給食の安心安全と食育

若園 ひでこ 議員



【問】 平成18年4月の給食費改定後、食材が値上がる要因がとても多い。摂取カロリー・味・品質は劣っていないか。食育の観点である食べることの大切さ・たのしみ・季節感・食材の取り合わせなど損なわれてはいないか。
【教育部長】 主食のごはん・パン・麺・牛乳の単価は値上がっている。他も値上がっていると認識している。限られた範囲の中で、カロリーや品質が落ちないように何とか工夫をしている。土用の丑の日には、うなぎをあらごで代用している。
【問】 なぜ、あなごなのか。説明をしているのか。
【教育部長】 説明されていると思う、確認をする。
【問】 メニューの品数は減っていないか。
【教育部長】 主食については、がんばっている。ふりかけ・ジャム・デザートは、減らさなければいけない状況である。
【問】 食品の値上げによる



子どもたちが楽しみにしている給食

品質・内容の劣化を防ぎたい。代用は避け、食文化を守りたい。教育委員会評価委員の意見では、給食費値上げについての意見がある。どのような場で検討をするのか。
【教育部長】 賄い費用は、原則的に受益者負担と考えている。消費税のアップが確定すると、値上がが決定的になると思う。給食センター運営委員会で検討していく。
【問】 子育て支援の町として、値上げ分を公費負担とする考えはないか。
【教育部長】 財政局との相談も必要。現況においては、受益者負担をお願いしたいと考えている。

先進地の事例を視察

委員会県外視察研修



議会広報のクリニック

7月29日・30日に、防会館（東京千代田区）にて開催された全国町村議会議長会主催の「議会だより編集」の研修に参加しました。全国の町村より約60人の議員が議会だより編集委員として参加。初日は、資料が映し出される大きなスクリーンが2面用意された大きな会場で、全員が一斉に研修を受けました。2日目は、4つのグループに分かれ、紙面づく

議会だより編集特別委員会

りに必要な専門分野の方々を講師に迎え「よりよい議会だより」を目標に知識を深めました。いかに町民のみなさんに読んでいただけるかが究極の課題であり、この目的を達成するための技術を取得する2日間でした。読みやすい文章であること。専門用語ではなく聞き慣れている単語を使用すること。そして、視覚的（文字の大きさや書体・紙面全体の色合いや余白のバランス・目線の流れに沿った文字の流れ）な工夫すること。これらを留意すること。読みやすい「議会だより」の基本であることとでした。また、読者参加ページの充実、議会と町民の皆さんとの距離感を縮めるのに役立つこと。今後のページ作成のヒントを多く得ることのできた内容の多い研修でした。

（委員長 若園ひでこ）

議会運営委員会

7月23、24日の両日、議会運営委員会の視察研修を実施いたしました。

吹田市議会

1、2期生で18名をよめ、若い議員構成になったことが議会改革のきっかけとなった。議案質疑と一般・代表質問を一括しておこなう運用が特徴的。

3月定例会からPCの持ち込みを可能とした。取扱は原則として各議員の良識に任せられている。

傍聴について、市議会傍聴規則と「委員会の傍聴に



吹田市議会での研修

関する取扱要領」により対応するものの、委員会に諮り柔軟に対応。議運委員の構成は「交渉団体（3人以上で構成される会派）」から均等に選出。委員外議員の発言を許可し意見調整を行っている。

大東市議会

自由討議について、議会基本条例に規定されているも未実施。討論との違いが不明瞭。ケンカみたいにならないような意見整理や細かいルールが必要。

委員会室の大きさから傍聴人数を10人と決めている。両市ともに、事務局員が議員と一体となって積極的に議会改革に取り組む姿勢が印象的でした。

また、委員会名称を親しみやすいもの（現在は「街づくり委員会」と「未来づくり委員会」に改称したり）、ワークショップ形式で教育委員会との懇談を実施するなど、具体的な取り組みも大変参考になりました。

（委員長 水川 淳）

議会活性化特別委員会

8月26日・27日に箕面市議会・亀岡市議会へ研修に行ってきました。関西の議会の多くは議会活性化が進んでいて、学ぶことが多く参考になります。箕面市議会は過去の反省から、テーマ絞って、議会改革検討会議を立ち上げ、短期間でそれなりの成果を上げていました。主なものは、一般質問のインターネット配信・委員会での委員間討議の導入があり、今後の予定も短期間で改革が進みそうです。

亀岡市議会は議会活性化ランキングで常に上位にいて、早くから議会改革に取り組んでいて、その改革度に驚き、わが町も議会改革の取り組みを急がねばとの思いでした。主なものは、①インターネット中継 ②決算認定で事務事業評価

③議場へのパソコン持ち込み許可 ④議会閉会中に一般質問に相当する文書質問を認めている ⑤議会報告会を数多く行っている ⑥休日議会の実施 ⑦議員3名以上での政策研究会制度の導入 ⑧常任委員会の月例開催 ⑨議会基本条例の制定 ⑩政治倫理条例の制定。この条例は市長・副市長・教育長も対象となっていて、有権者の1%の発議で審査請求ができる事になっている等、多くの事を勉強してきました。

（委員長 菱川 和英）



議会レポート

議会活性化をめざそう

【第一回】研修報告会

日程：平成25年9月19日（木）午後1時
場所：全員協議会室

実施した研修について情報の共有及び意見交換のため報告会を行いました。（一部、行政も参加）



議会運営委員会（委員長：水川 淳）
日程：平成25年7月23日（火）～24日（水）
研修先：大阪府吹田市議会・大東市議会
議場へのパソコン持込みを25年3月から実施する。
議員間の自由討議を定めたが、まだ実施していない。
日曜・夜間議会を開催したがネット配信との関係を検討する必要がある。



議会活性化特別委員会（委員長：菱川和英）
日程：平成25年8月26日（月）～27日（火）
研修先：大阪府箕面市議会・京都府亀岡市議会
反問権とせざる確認権として運用している。
決算審査は議会が事業評価の上、次年度予算に反映させている。
閉会中は文章質問制度を取り入れている。



議会だより編集特別委員会（委員長：若園ひでこ）
日程：平成25年7月29日（月）～30日（火）
場所：シーエーパツハ・サポ
専門用語はさけて、分かりやすい言葉で表記する。
表紙などの写真は人物を入れる。
読者のページなどにより親しみやすい紙面にする。

町民との意見交換 会をはじめました

第一回 区長・自治会長・駐在員のみなさんと8月1日(木)に、役場 4 階の全員協議会室で開催

東郷町議会は議会活性化の一環として、住民に開かれた議会をめざしています。そのための試みとして各地区の区長・自治会長・駐在員のみなさんにお集まりいただき、意見交換会を開きました。

■開かれた議会をめざす

はじめに、議会を代表してあいさつに立った加藤啓二議長は、議会活性化の取り組みについて説明し、その中で「より開かれた議会、住民とともにある議会をめざす」と議会活性化の目的を説明し、この懇談会もその取り組みのひとつだと述べました。

区長・自治会長・駐在員のみなさんから各地区での困りごとや町行政への意見が出されました。議会側は、議会で審議された内容を交えながら町行政の現状を説明し、必要に応じて行政に



区長・自治会長・駐在員のみなさん

というのが、全議員の偽らざる思いです。

議会として、住民のみなさんのご意見に真摯に耳を傾けることが、住み良い東郷町の実現へ議会としても役割を発揮することにつながります。

「開かれた議会」への取り組みに、住民のみなさんのご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

※この意見交換会の議事録は議会事務局で閲覧できます。

伝えることを約束しました。また、今後の検討が必要なことについては議会としても研究すると応じました。

区長・自治会長・駐在員のみなさんからの意見は、宅地開発の問題や防災、交通安全、個人情報取り扱い、犬などの糞尿の害など多岐にわたりました。議会としても、地域住民が直面する課題の多さ・困難さを改めて認識する場となりました。

■議会にとって厳しい反応も

議会に対しては、議長があいさつで述べた「より開かれた議会」「住民とともにある議会」について議員たちはどういう努力をしているのか一人ひとり話してほしいとの要望がありました。当選回数が多い議員から順番に、各々の取り組みや、インターネットでの一般質問の録画中継など議会

改革で実現したことを述べました。しかし、半分の議員が話し終えたところで、要望を出した方が「話を聞いていたらいつまでもかか

るのでこれくらいにしておく。区長・自治会長・駐在員の中でどれだけの人が、議員が近いと考えているのか。拳手をお願いしたい」と求め、6人しか拳手しないという、議会にとっては厳しい一幕もありました。



活発な意見交換

「より開かれた議会」「住民とともにある議会」については、どの議員もそうありたいと願う、そのために

住民の中に飛び込んで活動しているという自負はどの議員も持っています。しかし、住民から見たら必ずしもそうではないことを思い知ることになりました。一方、一言では語り尽くせないほどのことを東郷町議会として、また一人の議員として取り組んできたことも再確認できました。

■住民と対話する議会へ

近隣の市議会ではすでに取り組まれている議会報告会も東郷町議会はこれからです。こうした取り組みも、すぐには及第点をもらえないかもしれませんが、今回は各地区での地域活動をしている方々との意見交換でしたが、今後は各種団体のみなさん、幅広い住民のみなさんとの対話を重ね、「開かれた議会」であること多くの住民から思ってもらえるような議会にしていきたい

全国市町村交流レガッタ 阿賀大会

◎東郷町議会議員 2クルー出場

第22回大会は、平成25年9月28・29日に新潟県阿賀町「県立津川漕艇場」にて、全国25市町村が集い競技種目（成年、壮年、熟年のそれぞれ男子・女子、議会議員、議会議員シニアの部）に参加。この大会は223クルーが出場。



出場クルー

ナックフォア500mで白熱したレース展開が行なわれました。レースの勝敗以上に、参加市町村クルーの交流を図ることが出来ました。健闘むなしく議会クルーは決勝戦には進めませんでした。

県立津川漕艇場は、7月の異常降雨により阿賀野川の増水で、本大会のための設営施設が流出する等の災害に見舞われ、一時大会の開催が危ぶまれた時期もあったと聞き、復旧にご尽力された関係者の皆様に感謝申し上げます。

(議会議員ポーター部長 近藤こうじ)



奮闘中の議会クルー



議員の活動

10月

- 1(火) 高齢者福祉大会
議会活性化特別委員会
- 2(水) 議会だより編集特別委員会
- 3(木) 中部水道企業団議会運営委員会視察研修
- 4(金) 中部水道企業団議会運営委員会視察研修
日東衛生組合定例会
尾三衛生組合定例会
尾三消防組合定例会
- 8(火) 全体会議
議会活性化特別委員会
- 9(水) 議会だより編集特別委員会
- 12(土) 保育園運動会
東郷町障がい者レクリエーション交流会
- 15(火) 議会だより編集特別委員会
- 19(土) 春木台小学校学習発表会
- 20(日) いこまい館開館10周年記念講演
- 21(月) 日東衛生組合・尾三衛生組合・尾三消防組合
三組合議員合同研修
- 22(火) 日東衛生組合・尾三衛生組合・尾三消防組合
三組合議員合同研修
- 24(木) 議会活性化特別委員会
- 25(金) 総務経済委員会県外研修
- 26(土) 議会報告会
- 27(日) 植樹祭
- 31(木) 文教民生委員会県外研修

11月

- 1(金) 文教民生委員会県外研修
- 5(火) 王滝村議員交流
- 6(水) 中部水道企業団上下流交流会
- 7(木) 中部水道企業団上下流交流会
東郷町戦没者追悼式
- 9(土) 文化産業まつり（文化の部発表会）
- 10(日) 文化産業まつり
社会福祉大会表彰式（青少年健全育成・体育協会）
- 14(木) 12月定例会一般質問通告受付
- 15(金) 中部水道企業団議会運営委員会
- 19(火) 議会運営委員会
全体会議
- 29(金) 議会運営委員会
12月定例会開会日

みなさまのご意見大募集!!

議会の果たすべく役割を十分に踏まえ、
住民のためにある議会であるよう努めてまいります。

- 議会に質問（特に子どもからの質問大歓迎）
- 議会にもの申す！（議会へのご意見・ご要望）
- 傍聴レポート（議場のお気づきをお聞かせください）

など、ご意見・ご質問をお寄せください。



宛先：議会だより編集特別委員会 〒470-0198 愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地 TEL0561-38-3111

委員長
副委員長

議会だより編集委員

若園ひでこ
加藤宏明
若松孝行
山田達郎
加藤啓二
石川正
星野靖江



は9時開始です。
ぜひ、傍聴にお越しください。

- 11月29日 本会議（議案上程）
- 12月6日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議
（一般質問・議案質疑）
- 11日 本会議予備日
- 16日 総務経済委員会
- 17日 文教民生委員会
- 18日 委員会予備日
- 20日 本会議（討論・採決）

12月定例会の日程